

三田市長 あて

ふりがな つつみたかひろ

提案代表者

氏名 堤 貴洋 (けやき台自治会)

まちづくり提案書

三田市政への市民参加条例第21条第1項の規定により、別紙提案者名簿を添えて、次のとおり提案します。

提案する政策の名称	市民との協働による安心安全のまちづくり
現状及び課題	<p>昨今、三田市内での空き巣やわいせつ事件の増加が目立っている。</p> <p>さんだ防災・防犯メールでは、教育委員会を通して子どもへの声かけ・わいせつ事件が情報提供されているが、その他の空き巣の手口や被害件数等、市民が防犯上必要とする情報は提供されていないのが実情である。空き巣事件で言えば、連休中や地域のイベントの日を狙った不在宅が多い日の犯行が続き、1日に複数件の犯行が行われている。このような中、被害に遭われた家人は安心して眠れない日々を過ごしている。</p> <p>けやき台自治会でも定期的に防犯パトロールを行っているが、限られた時間・限られた範囲での活動となり、また自治会への加入率の低下や今後の住民の高齢化を考えると自治会が地域で行える活動に限界がある。</p>
提案に係る政策の目的、趣旨	空き巣やわいせつ事件では、もちろん犯人を捕まえることは重要であるが、並行して地域住民が「視ている」という予防策・防犯が重要である。
提案に係る政策の内容(対象、手段等)	<p>① 三田市が三田警察署と連携して空き巣などの犯罪手口と傾向、予防法・防犯に関する情報を地域に提供する</p> <p>② 通学路・繁華街への防犯カメラの設置</p> <p>③ 地域ステッカーを配布し各家庭の自家用車に貼付してもらうことで、市外・地域外の車が侵入したことがわかるようにする</p> <p>④ パトロールジャンパー・Tシャツを自主的に着て散歩する見守りボランティアの啓発と実施。ジャンパー・Tシャツ配布</p> <p>⑤ 自治会への加入促進策(メール対応できない方へ、回覧板を介しての情報提供)</p>
提案に係る政策の実施により期待できる効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 犯罪発生率の低下 ・ 地域のつながり強化 ・ 安心・安全への先進的な取り組みをすることが三田市のシティーセールスとなり、知名度や入居者の増加につながる
提案に係る政策の実施に当たり必要な費用見込み(費目、内訳、金額)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防犯カメラ 20 台 × 300,000 円 ・ 地域ステッカー 3,000 世帯 × 5 円 ・ パトロールジャンパー・Tシャツ 150 人 × 3,500 円 <p>計 6,540,000 円</p>
意見を述べる機会(どちらかに○をつけてください)	<p>1 希望する</p> <p>2 希望しない</p>
添付資料	